



PRINCE2® 7 ファンデーション シラバス

PeopleCert

公式トレーニング教材



1. はじめに

PRINCE2 7 ファンデーション認定資格はプロジェクト・マネージャーおよびプロジェクト・マネージャーを目指す方を対象としています。プロジェクトの設計、開発、デリバリーに関与するその他の主要なスタッフも対象となります。これには、プロジェクト委員会メンバー（例：上級実行責任者）、チーム・マネージャー（例：成果物デリバリー・マネージャー）、プロジェクト保証（例：ビジネス変更アナリスト）、プロジェクト支援（例：プロジェクトおよびプログラム・オフィスの人員）、運用ライン・マネージャーまたはスタッフが含まれます。

PRINCE2 7 ファンデーション試験は、受験者が以下のとおりシラバスに記載された PRINCE2 プロジェクト・マネジメント手法を記憶し理解していることを評価することを目的としています。PRINCE2 7 ファンデーション認定資格は、PRINCE2 プラクティショナー試験の前提条件となります。PRINCE2 プラクティショナー試験では、理解している PRINCE2 プロジェクト・マネジメント手法を状況に合わせて応用する能力が評価されます。

2. 試験の概要

持ち込み可能な資料	なし	この試験は「公式書籍持ち込み不可」です。『PRINCE2® 7 成功のためのプロジェクト・マネジメント手法』公式書籍は推奨されている学習教材ですが、試験中に参照することはできません。
試験時間	60 分間	母国語以外または業務で使用する言語以外の言語で試験を受ける受験者には 25% の延長が認められ、制限時間は 75 分間になります。
配点	60 点	60 個の設問があり、1 問につき 1 点です。点数がマイナスになることはありません。
合格点	36 点	試験に合格するには、36 問以上正解（60%）する必要があります。
思考レベル	ブルームのレベル 1 および 2	「ブルームのレベル」は、設問に答えるために必要な思考のタイプを表します。ブルームのレベル 1 の設問では、PRINCE2 手法に関する情報を思い出す必要があります。ブルームのレベル 2 の設問では、それらの概念を理解していることを示す必要があります。
設問のタイプ	標準、語句の穴埋め、リスト、否定形	設問はすべて「多肢選択式」です。 「標準」の設問では、設問に対する答えとして 4 つの選択肢が提示されます。 「否定形」の設問は「標準」の設問ですが、本文が否定表現になっています。 「語句の穴埋め」の設問では、ある語句が抜けた文章が提示され、その抜けた語句を 4 つの選択肢の中から選択します。 「リスト」の設問では、4 つの文章が提示され、正解を 2 つ選択します。

3. 設問のタイプ

40 個の設問はすべて客観テスト問題（OTQ: Objective Test Question）です。4 つの選択肢の中から正解を 1 つ選択してもらいます。間違った選択肢（不正解）は、知識またはスキルが不十分な受験者が選択しがちです。一般的にこれらの選択肢は、試験対象のシラバスの領域に関連するもっともらしい回答となっています。OTQ 設問形式には、「標準」、「語句の穴埋め」、「リスト」（正解が 2 つ）、および例外的に使用される「否定形」の標準 OTQ があります。

「標準」の設問例:

次のうち、PRINCE2 に統合された 4 つの要素に該当するものはどれですか？

- a) 品質
- b) 役割記述書
- c) プロセス
- d) 成果物記述書

「リスト」の設問例:

テラリングについて、正しい記述を 2 つ選択してください。

1. プロセスは簡素化したり、より詳細に実行したりできる。
 2. 用語は組織の標準に合わせて変更できる。
 3. プロジェクトに関係のないテーマは除外できる。
 4. プロジェクト・マネジメント・チームのメンバーは、役割を自由に組み合わせることができる。
- A. 1 と 2
 - B. 2 と 3
 - C. 3 と 4
 - D. 1 と 4

注: リストのアイテムのうち、2 つが正解です。

「語句の穴埋め」の設問例:

次の文の空欄に当てはまる言葉を選択してください。

[?] テーマの目的は、プロジェクト目標から受け入れられない偏差をコントロールすることです。

- A. 変更
- B. 計画
- C. 進捗
- D. リスク

「否定形」の設問例:

次のうち、PRINCE2 の役割でないものはどれですか？

- A. 役割 A
- B. 役割 B
- C. 役割 C
- D. 役割 D

注: 否定形の設問は、実施すべきではない事柄や発生すべきではない事柄を理解することが学習成果の中に含まれる場合に限り、例外的に使用されます。

試験の形式と内容の例については、模擬試験をご確認ください。

4. シラバス

以下の表では、試験で知識が試される概念の概要と、それらの概念が説明される公式書籍の主要部分をまとめています。書籍参照先は該当の記述があるセクションです。特に記載のない限り、セクション内のサブセクションではありません。

学習成果	アセスメント基準	ブルームのレベル (Bloom's Level: BL)
1. プロジェクトと PRINCE2 に関連する主要概念を理解する	1.1 プロジェクト・マネジメントに関連する以下の主要概念を思い出す： a) 次の PRINCE2 の統合された要素の定義：原則、人材、プラクティス、プロセス、プロジェクト状況（1.2、図 1.1） b) プロジェクトとプロジェクト・マネジメントの定義（1.3、1.4） c) マネジメントすべきプロジェクトのパフォーマンスの側面（1.4） d) 次のデリバリー・アプローチの定義：直線的かつ連続的、反復的かつ段階的、ハイブリッド（1.5.3）	BL1
	1.2 プロジェクト・マネジメントに関連する以下の主要概念を説明する： a) プロジェクト・マネジメントが用いられる一般的な理由（1.3） b) PRINCE2 で対処できる一般的な課題（1.4） c) プロジェクトの特徴（1.3） d) 状況/プロジェクト環境に応じたプロジェクト（1.5 - 1.5.3 を除く） e) PRINCE2 の特徴とベネフィット（1.6）	BL2
2. PRINCE2 の原則がどのように PRINCE2 手法の基盤となるかを理解する	2.1 以下の PRINCE2 の原則を説明する： ● ビジネス正当性の継続の確保（2.1） ● 経験からの学習（2.2） ● 役割、責任、関係の定義（2.3） ● ステージによるマネジメント（2.4） ● 例外によるマネジメント（2.5） ● 成果物重視（2.6） ● プロジェクトに合わせたテーラリング（2.7）	BL2
	2.2 原則が PRINCE2 を適用する基準を提供する方法とその理由、どのような要因が PRINCE2 手法をテーラリングして適用する方法に影響するか、誰が実行責任を負い、どのようにしてテーラリングの判断を文書化するかを説明する（2、2.7、図 2.1）	BL2

学習成果	アセスメント基準	ブルームのレベル (Bloom's Level: BL)
3. プロジェクトの成功における人の重要性を理解する	3.1 人材の要素に関連する以下の主要概念を定義する： - 組織のエコシステム（3.1、図 3.1） - プロジェクト・エコシステム（3.1、図 3.1） - 変更マネジメント（3.2.1） - 利害関係者（3.2.2） - カルチャー（3.2.3） - 協働と共創（3.3） - リーダーシップ（3.3） - マネジメント（3.3）	BL1
	3.2 人材の要素に関連する以下の概念の違いを説明する： - プロジェクトに取り組む人とプロジェクトの影響を受ける人（3.1） - リーダーシップとマネジメント（3.3）	BL2
	3.3 人の要素に関連する以下の主要概念を説明する： - 変更マネジメントとそれが重要な理由（3.2.1） - 利害関係者エンゲージメント（3.2.2） - コミュニケーション（3.4） - 多様性、能力、コンピテンシーを備えた効果的なチーム（3.3）	BL2
	3.4 プロジェクトの人の要素を支援するために必要な、以下のマネジメント成果物の目的を説明する： - PID: 変更マネジメント・アプローチ（3.2.1） - PID: コミュニケーション・マネジメント・アプローチ（3.4）	BL2
	3.5 人的側面が PRINCE2 の他の要素とどのように統合されるかを説明する（すべてのサブセクションを含む 3.5）	BL2
4. PRINCE2 プラクティスとプロジェクト全体を通してそれを適用する方法を理解する	4.1 以下を含む PRINCE2 マネジメント成果物の目的を説明する： - PID（4.3.1） - プロジェクト・ログ（4.3.2）	BL2
	4.1.1 「ビジネス・ケース」プラクティスの目的を説明する（5.1）	BL2
	4.1.2 「ビジネス・ケース」プラクティスと原則の主要な関係を説明する（5.7、表 5.2）	BL2
	4.1.3 「ビジネス・ケース」プラクティスを支援するために必要な、以下の主なマネジメント成果物の目的を説明する（5.5）： - プロジェクト要約書 - ビジネス・ケース - PID: ベネフィット・マネジメント・アプローチ - PID: 持続可能性マネジメント・アプローチ	BL2

学習成果	アセスメント基準	ブルームのレベル (Bloom's Level: BL)
	4.1.4 「ビジネス・ケース」プラクティスに関連する以下の主要概念を定義する：（5.1） • アウトプット • 成果 • ベネフィット • ディスベネフィット • ビジネス目標	BL1
	4.1.5 以下を含む、効果的なビジネス・ケース・マネジメントについてのガイダンスを説明する：（5.2） • ビジネス・ケースのライフサイクル（5.2.1、図 5.2、図 5.3） • 成果物をビジネス目標と許容度に整合させる（5.2.2） • ビジネス正当性を確立する（5.2.3）	BL2
	4.1.6 「ビジネス・ケース」プラクティスの PRINCE2 技法を説明する（5.3.1）	BL2
	4.2.1 「組織化」プラクティスの目的を説明する（6.1	BL2
	4.2.2 「組織化」プラクティスと原則の主要な関係を説明する（6.7、表 6.5）	BL2
	4.2.3 「組織化」プラクティスを支援するために必要な、以下の主なマネジメント成果物の目的を説明する：（6.5） • PID: プロジェクト・マネジメント・チーム組織 • PID: 役割記述書 • PID: 商業マネジメント・アプローチ	BL2
	4.2.4 「組織化」プラクティスに関連する以下の主要概念を定義する • プロジェクト委員会（6.2.1、6.2.4.4） • プロジェクト・チーム（6.2.3）	BL1
	4.2.5 以下の効果的な組織化のためのガイダンスを説明する： • プロジェクトの 3 つの関心（6.2.1） • PRINCE2 の役割（6.2.4） • ワーク・ブレイクダウン・ストラクチャー（6.2.5）	BL2
	4.2.6 「組織化」プラクティスの PRINCE2 技法を説明する（6.3.1	BL2
	4.3.1 「計画」プラクティスの目的を説明する（7.1）	BL2
	4.3.2 「計画」プラクティスと原則の主要な関係を説明する（7.7、表 7.2）	BL2

学習成果	アセスメント基準	ブルームのレベル (Bloom's Level: BL)
	4.3.3 「計画」プラクティスを支援するために必要な、以下の主なマネジメント成果物の目的を説明する：(7.5) - ワーク・パッケージ記述書 - プロジェクト成果物記述書 - 計画書（プロジェクト計画書、ステージ計画書、チーム計画書、例外計画書を含む）	BL2
	4.3.4 「計画」プラクティスに関連する以下の主要概念を定義する： - スケジュール（7.3.1.4） - 依存関係（7.3.1.2） - プロジェクト計画書（7.2.2.1） - ステージ計画書（7.2.2.2） - チーム計画書（7.2.2.3） - 例外計画書（7.2.2.4） - スコープ（7.1.2）	BL1
	4.3.5 以下の効果的な計画マネジメントのためのガイダンスを説明する： - 計画期間（7.2.1） - プロジェクトのステージ（7.2.3） - 成果物ベースの計画立案（7.2.5） - 許容度を用いた制約のマネジメント（7.2.4） - デリバリーの持続可能性（7.4.4）	BL2
	4.3.6 「計画」プラクティスの PRINCE2 技法を説明する（7.3.1）	BL2
	4.4.1 「品質」プラクティスの目的を説明する（8.1）	BL2
	4.4.2 「品質」プラクティスと原則の主要な関係を説明する（8.7、表 8.3）	BL2
	4.4.3 「品質」プラクティスを支援するために必要な、以下の主なマネジメント成果物の目的を説明する：(8.5) - 成果物記述書 - PID: 品質マネジメント・アプローチ - プロジェクト・ログ: 品質登録簿 - プロジェクト・ログ: 成果物登録簿	BL2
	4.4.4 「品質」プラクティスに関連する以下の主要概念を定義する： - ユーザーの期待品質（8.1.1、8.2.1.1） - 受け入れ基準（8.1.1） - 品質仕様（8.1.1） - 要件（8.1.1）	BL1
	4.4.5 以下の効果的な品質マネジメントのためのガイダンスを説明する： - 品質計画（8.2.1） - 品質コントロール（8.2.2） - 品質保証（8.2.3）	BL2

学習成果	アセスメント基準	ブルームのレベル (Bloom's Level: BL)
	4.4.6 「品質」プラクティスの PRINCE2 技法を説明する (8.3.1)	BL2
	4.5.1 「リスク」プラクティスの目的を説明する (9.1)	BL2
	4.5.2 「リスク」プラクティスと原則の主要な関係を説明する (9.7、表 9.4)	BL2
	4.5.3 「リスク」プラクティスを支援するために必要な、以下の主なマネジメント成果物の目的を説明する: (9.5) • PID: リスク・マネジメント・アプローチ • プロジェクト・ログ: リスク登録簿	BL2
	4.5.4 「リスク」プラクティスに関連する以下の主要概念を定義する: • リスク: 不確実性に基づく脅威または機会 (9.1) • リスク選好度 (9.2) • リスク許容度 (9.2) • リスクの原因、イベント、影響 (9.2.1) • リスク影響度 (9.2) • リスク・オーナーとリスク処置のオーナー (9.2) • リスクの発生確率 (9.2) • リスクのインパクト (9.2)	BL1
	4.5.5 以下の効果的なリスク・マネジメントのためのガイダンスを説明する: • リスク計画 (9.2.1) • リスク分析 (9.2.2) • リスク・コントロール (9.2.3) • リスク・カルチャー (9.2.4) • 意思決定バイアスの理解 (9.2.4) • 推奨されるリスク対応策の種類 (9.2.3.1、表 9.1) • データの使用 (9.3.2.6)	BL2
	4.5.6 「リスク」プラクティスの PRINCE2 技法を説明する (9.3.1)	BL2
	4.6.1 「課題」プラクティスの目的を説明する (10.1)	BL2
	4.6.2 「課題」プラクティスと原則の主要な関係を説明する (10.7、表 10.3)	BL2
	4.6.3 「課題」プラクティスを支援するために必要な、以下の主なマネジメント成果物の目的を説明する: (10.5) • PID: 課題マネジメント・アプローチ • プロジェクト・ログ: 課題登録簿 • 課題報告書	BL2

学習成果	アセスメント基準	ブルームのレベル (Bloom's Level: BL)
	4.6.4 「課題」プラクティスに関連する以下の主要概念を定義する: - 課題（次の課題の種類を含む: 変更、問題/懸念事項、ビジネス機会、変更要求、仕様外項目）（10.1、10.2.2、10.2.3） - プロジェクトのベースライン（10.1） - 変更コントロール（10.2.3）	BL1
	4.6.5 以下の効果的な課題マネジメントのためのガイダンスを説明する: - ベースライン（10.2.1） - 課題解決（10.2.2） - 変更コントロール（10.2.3） - 変更に対する委任された権限（10.2.4） - 変更予算（10.2.5）	BL2
	4.6.6 「課題」プラクティスの PRINCE2 技法を説明する（10.3.1）	BL2
	4.7.1 「進捗」プラクティスの目的を説明する（11.1）	BL2
	4.7.2 「進捗」プラクティスと原則の主要な関係を説明する（11.7、表 11.4）	BL2
	4.7.3 「進捗」プラクティスを支援するために必要な、以下の主なマネジメント成果物の目的を説明する:（11.5） - チェックポイント報告書 - ハイライト報告書 - ステージ終了報告書 - プロジェクト終了報告書 - 教訓報告書 - 例外報告書 - プロジェクト・ログ: デイリー・ログ - プロジェクト・ログ: 教訓ログ - PID: デジタルおよびデータ・マネジメント・アプローチ	BL2
	4.7.4 「進捗」プラクティスに関連する以下の主要概念を定義する: - 予測（11.1） - 例外（11.1） - 許容度（11.2.1） - イベント駆動型および時間駆動型コントロール（11.2.2）	BL1

学習成果	アセスメント基準	ブルームのレベル (Bloom's Level: BL)
5. PRINCE2 プロセスとプロジェクト全体を通してそれを適用する方法を理解する	4.7.5 以下の効果的な進捗マネジメントのためのガイダンスを説明する： ● 進捗コントロールの許容度（11.2.1 - 表 11.1 を除く） ● コントロールの種類（11.2.2） ● 進捗と教訓をレビューする（11.2.3） ● 進捗と教訓を報告する（11.2.4） ● 予測する（11.2.5） ● エスカレーションする（11.2.6） ● 進捗マネジメントにデータとシステムを使用する（11.2.7）	BL2
	4.7.6 「進捗」プラクティスの PRINCE2 技法を説明する（11.3.1）	BL2
	5.1 以下の PRINCE2 プロセスの目的を説明する： ● プロジェクトの始動（13.1） ● プロジェクトの指揮（14.1） ● プロジェクトの立ち上げ（15.1） ● ステージのコントロール（16.1） ● 成果物デリバリーのマネジメント（17.1） ● ステージ境界のマネジメント（18.1） ● プロジェクトのクローズ（19.1）	BL2
	5.2 以下の PRINCE2 プロセスの達成目標を説明する： ● プロジェクトの始動（13.2） ● プロジェクトの指揮（14.2） ● プロジェクトの立ち上げ（15.2） ● ステージのコントロール（16.2） ● 成果物デリバリーのマネジメント（17.2） ● ステージ境界のマネジメント（18.2） ● プロジェクトのクローズ（19.2）	BL2
	5.3 以下の PRINCE2 プロセスの背景を説明する： ● プロジェクトの始動（13.3） ● プロジェクトの指揮（14.3） ● プロジェクトの立ち上げ（15.3） ● ステージのコントロール（16.3） ● 成果物デリバリーのマネジメント（17.3） ● ステージ境界のマネジメント（18.3） ● プロジェクトのクローズ（19.3）	BL2

5. 試験の詳細

PRINCE2 ファンデーション試験は、以下のような構造の 5 つのセクションから構成されます。

学習成果	比重（配点） %
1. プロジェクトと PRINCE2 に関連する主要概念を理解する	3%
2. PRINCE2 の原則がどのように PRINCE2 手法の基盤となるかを理解する	8%
3. プロジェクトの成功における人の重要性を理解する	14%
4. PRINCE2 プラクティスとプロジェクト全体を通してそれを適用する方法を理解する	60%
5. PRINCE2 プロセスとプロジェクト全体を通してそれを適用する方法を理解する	15%
合計	100%

PeopleCert